

○測定項目の説明

- ・ **pH（水素イオン濃度）**

水が酸性かアルカリ性かを示す指標で、7より小さいときは酸性、7より大きいときはアルカリ性であり、7から離れるほどその性質は強くなります。

- ・ **DO（溶存酸素量）**

水中に溶けている酸素の量を表します。魚には通常5 mg/L程度は必要といわれています。

- ・ **BOD（生物化学的酸素要求量）**

微生物が水に含まれる有機物を分解するのに必要な酸素の量を表す数字で、有機汚濁の指標です。数値が大きい程汚濁が進んでいるといえます。

- ・ **COD（化学的酸素要求量）**

水に含まれる汚濁物質を化学的に酸化させるのに必要な酸素の量です。
この数値が大きい程汚濁が進んでいるといえます。

- ・ **SS（浮遊物質量）**

一般には2 mm以下の水に溶けない懸濁性物質の量を表し、数値が大きい程汚濁が進んでいます。透視度や色とともに外見上の美しさを決める最大の因子です。

- ・ **全窒素および全磷**

水に含まれる窒素酸化物・磷化合物の量を示す値で、これらの数値が高いと水域の富栄養化がおこり、藻の大量発生などにより景観の悪化や魚類の減少などが生じます。

- ・ **大腸菌群数**

人間及び動物の腸管、特に大腸内に多数常在する細菌です。非病原性ですが、その存在は人畜の糞便による汚染を意味し病原体を含む危険性を示し水質汚濁の指標の一つとして使われています。

- ・ **n-ヘキサン抽出物質**

一定条件下でヘキサンにより抽出されるものを重量で表したもので水中に含まれる油分(鉱物性、動物性、植物性)の総量です。